

#### コネクタソン2019見学会 IHE眼科ドメイン ~初開催までの経緯と眼科業務シナリオ~

日本IHE協会 接続検証委員会 眼科技術委員会

#### 眼科分野特徵

- 自科検査が多い
  - 中央検査は少なく、ほとんどが眼科内検査
- 数多くの検査機器(テキスト、数値中心)
- 部門システムにて運用をカバー



なかなか標準化が進みにくい 移行や各種連携等に支障が出始める



### 以前IHE眼科プロファイル

- 放射線部門をベースとして作成された
- 実際の運用に会っていない
  - 中央検査部門を想定したフロー
  - HL7、DICOMに対応していない
  - 検査時点では患者 I Dが入力されていない機器
- 普及がすすまない状態・・・。

光学機器中心に日本の機器が世界的にも進んでいるのにかかわらず、貢献できていない状況。



#### 標準仕様のJOIA Std.の策定へ



2007年日本眼科学会の共通仕様作成の依頼 3団体での合同委員会を設立し仕様策定を行う。

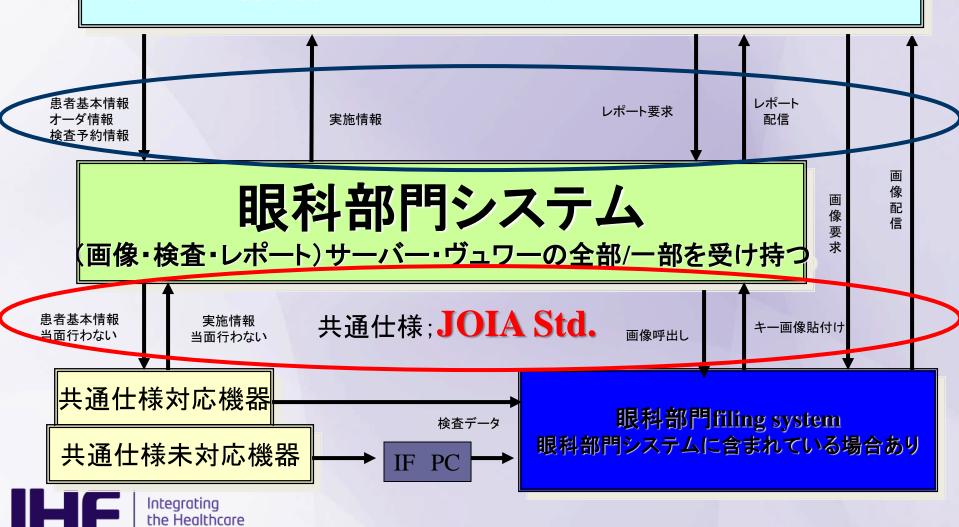


#### 標準規約制定 JOIA Std.

- 眼科用検査機器の出力データ仕様書 検査機器側の視点に基づく仕様、XMLベース。
- 2008年日本眼科医療器協会にて初版制定
- 定義済データ レフラクトメータ・ケラトメーター・眼圧計・レンズメータ ー眼軸長・角膜厚み・IOLパワー計算出力データ 眼底カメラの画像検査データ
- ISOに対して提案中



#### 院内情報システム; HIS DICOM



Enterprise

IAPAN

#### コネクタソンへの経緯

- 2018年 プレコネクタソン

   IHE協会より審査員を招き実施、眼科機器ベンダ同士で実施
- 2019年 コネクタソン ※初実施
- 参加ベンダ
  - Meditec Carl Zeiss AG
  - ビーライン
  - キャノン
  - トプコン
  - ニデック
  - ファインデックス



#### IHE眼科ポイント

- IHE眼科TFのスコープ
  - □ 検査データ(テキスト)の送受信(レフ、ケラト、眼圧など)
- ■通信規約
  - □CIFS,FTP
  - ※今後見直してゆく予定
- ■テスト時注意事項
  - ロトランザクションモニタが未対応
  - □受信側による電文のアップロードと画面キャプチャを用い て審査



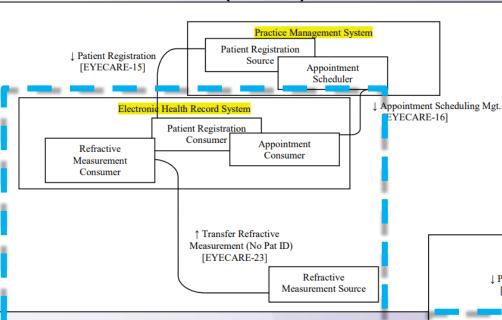
## 眼科検査機器・出力データ

検査機器	外観	出力データ
レフラクトメーター <sub>(※)</sub>		他覚屈折値 球面屈折力、円柱屈折力、乱視軸等
ケラトメーター <sub>(※)</sub>		角膜形状測定値 角膜曲率半径、角膜屈折力、角膜乱視軸等
トノメーター <sub>(※)</sub>		眼圧値
レンズメーター		眼鏡屈折値 球面屈折力、円柱屈折力、乱視軸、加入度等

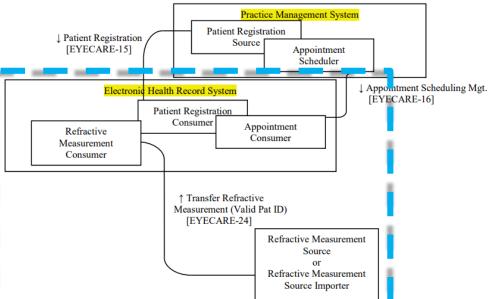


# U-EYECARE Refractive アクタ 及び トランザクション

Refractive Measurement Model (No Pat ID)



Refractive Measurement Model (Valid Pat ID)



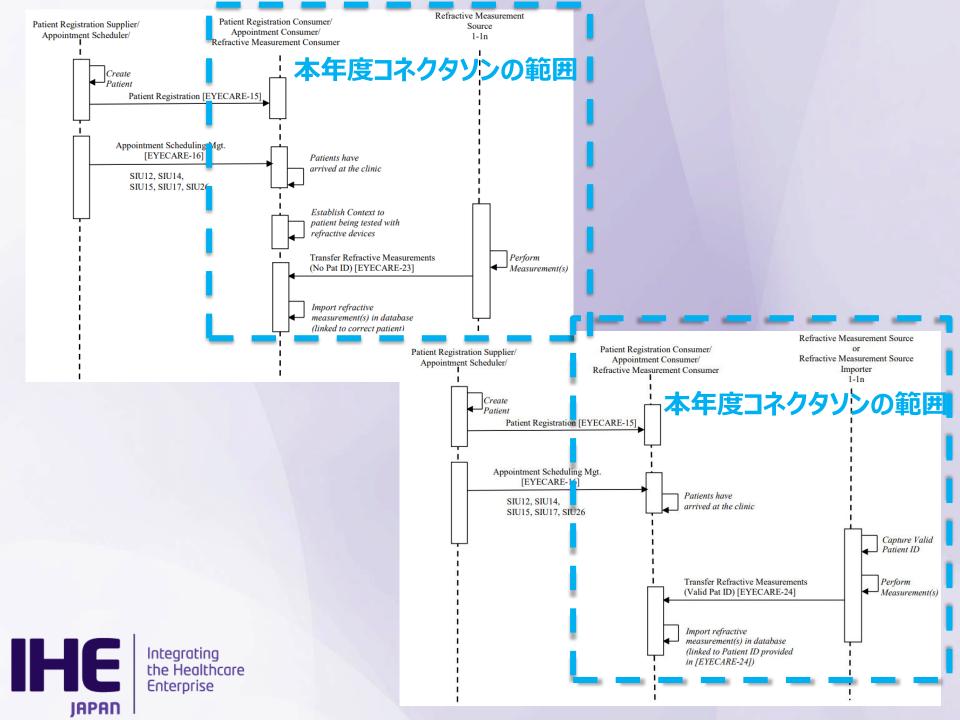
#### 本年度コネクタソンの範囲



#### U-EYECARE Refractive アクタの役割

- Refractive Measurement Source (RMS)
  - □ JOIA Stdに準拠した検査データを生成するシステム 例:オートレフラクトメータ、ケラトメータ、レンズメータ
- Refractive Measurement Source Importer (RMSI)
  - □独自の仕様(RS232C等)で測定した検査データを、 JOIA Stdに準拠した検査データを生成するシステム
- Refractive Measurement Consumer (RMC)
  - □ 実施JOIA Stdに準拠した検査データを取り込み、データベースに保存することが出来るシステム
    - 例:電子カルテ、眼科部門システム





#### 初コネクタソンにあたり

- IHE経験者が少ないために手探りに進めていった。
- Gazelleテストインスタンスはマスタ作成 等が足りておらず、IHE協会メンバの 協力を得て作成。
- 3社間テストを実施するため、参加ベン ダ数の確保に気を使った。協会からの呼 びかけを実施。





## ご清聴ありがとうございました。

ご質問があれば承ります。